

学級活動指導案

平成 29 年 10 月 27 日（金）5 校時（13:55～14:40） 第 6 学年 1 組教室 指導者 中山 拓哉

1 題材名 「より良い学級生活を送るための係活動を工夫しよう」

内容（1）学級や学校の生活づくり イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理

2 題材観

本単元は、学級活動の内容「（1）学級や学校の生活づくり イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理」に関わるものである。

小学校では勤労ということの素地をつくるために、日常生活での役割の理解や考え方、役割を果たそうとする態度、役割を果たす意味やその内容を理解する力の育成が求められている。また、自分や他人に関心を持つことや協力しながら目標に向かって努力することの大切さを学級活動、特に係活動で学ばせることをねらっている。子どもの自主性を伸ばして、責任感を持たせていくために、係活動は大切な取組である。子どもたちが考え、計画し、実行したことが学級のためになり、学級を豊かにする。子どもたちは係活動を通して役に立つ喜びを感じ、心豊かに成長していく。高学年ともなると、これまでの経験から係を決め、活動内容や役割分担を考えて自主的に活動することができるようになってくる。しかし、委員会活動や各種行事に向けての取組のために、活動時間を確保することが難しくなっている。また、なんとか活動はしているものの、趣向を凝らしたり新しい活動を取り入れようとしたりする態度はあまり見られず、活動が停滞する傾向にある。そういった時期に、係活動について見直し、児童一人一人が学級生活の充実と向上を目指して主体的・創造的に活動することはとても重要である。また、こうした体験を積み重ねることで、学級の一員として「より良い学級にしよう」と自主性を発揮し、責任感を持って活動に取り組むことができるようになっていくのではないかと考え、本主題を設定した。

3 研修との関わり

本研修では、群馬ヤクルト販売株式会社（以下、群馬ヤクルト）の人材開発部に所属し、従事者育成に関わる各種研修を中心に取り組んでいる。会社の目的は、利益本意ではなく、お客様に満足いただくサービスを提供し、働く者を含めてみんなが幸せになることである。そのため群馬ヤクルトの事業目的は、「群馬県の皆様に健康と美をお届けする」という本業を通して、社会貢献をすることである。実際に、住宅や職域に商品をお届けする宅配サービス部での業務同行研修、店舗や自動販売機を通してお客様に商品をお届けする直販サービス部での業務同行研修からそれらを体感することができた。また、「誰かの役に立つ。誰かを幸せにする。」という社会的役割の実現に向けて、各部門が同じ方向を向き、「一人一人が主役そして、チーム力の向上」のスローガンの下、お客様のために何ができるかを自ら考え、一人一人が実践している印象を受けた。このような実践を積み重ねてきた結果、群馬ヤクルトは、全国 103 あるヤクルトグループの販売会社の中で、12 年以上連続で販売実績 1 位を収めている。

そこで群馬ヤクルトのように、学級においても児童一人一人が自分の役割や責任を果たし、学級のため、人の役に立つような意識を持ち、学級生活をより良くするための係活動について見直しや工夫をすることが大切である。その結果、小学校生活が残り半年となる 6 学年児童にとって、より充実した学級生活及び真に豊かな実りある小学校生活につながると考える。

4 指導方針

（1）児童が係活動の工夫について考えやすいように、幾つかの具体例や群馬ヤクルトでの研修を生かした例示を行う。その上で、個別に指導を要する児童や係には声掛けをしたりヒントカードを渡したりする。

- (2) 東部小スタンダードに基づき、個人で考える、係で考える、係相互で考える、全体で共有するという流れで、考えを深めさせる。
- (3) 授業後、自分たちで考えた活動が常時活動として実践できているか振り返ることができるように、振り返りシートを用意し、定期的に記入させる。
- (4) 自分たちで考えた活動を更に見直したり工夫したりすることができるように、定期的に朝や帰りの学活の時間等で係活動の時間を確保する。

5 評価規準 (事前の活動→本時の活動→事後の活動)

評価規準	集団活動や生活への関心・意欲・態度	学級生活を豊かにするための係活動を計画しようとしている。	
	集団の一員としての思考・判断・実践	学級生活を豊かにするために、係活動でどんな工夫ができるか、どんなやり方をするかなどについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。	
	集団活動や生活についての知識・理解	学級生活を豊かにするための係活動の意義やよさを知り、工夫していくことの大切さについて理解している。	
時間	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
	知識・理解	思考・判断・実践	
事前の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がやりたいことだけをするのではなく、集団の中での役割や責任を自覚し、どんな役割でも組織や社会集団を支えていることに気付くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活から、与えられた役割に対して、主体的に責任を果たし、そこにいる楽しさや喜びを実感できていたか振り返ることができる。 ・集団の中で自分の立場や役割を自覚し、それらを主体的に果たそうとする心情を高めることができる。 	(道徳) 4- (1) 役割と責任の自覚
本時の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなでより良い学級生活を送ることの大切さを理解することができる。 ・係活動を工夫し自分の役割を果たすことが、より良い学級生活につながることを理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より良い学級生活づくりに向け、係活動の工夫について係内及び係相互で考えることができる。 (自己理解・自己管理能力) ・友達と協力して活動する中で、関わりを深めることができる。 (人間関係形成・社会形成能力) 	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを確認する。 ・アンケート結果を提示し、係活動の現状を振り返る。 ・より良い学級にするために自分の係でどんな工夫ができるか考え、発表する。 ・群馬ヤクルトの会長からのビデオレターを視聴する。
事後の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・決定したことについて、クラスで協力して実践することの意義や方法について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・係と同様に委員会、縦割り班活動、登校班等の日常生活でも「学校のため、人のために」できることを考え実践することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで決めたという思いを持って、係活動を実践していく。 ・自分たちの係活動の工夫が、意欲的に実践できたか振り返りシートに記入する。

6 本時の学習指導

(1) 目標 自分の役割や責任を果たし、学級生活をより良くするための係活動の工夫について考えることができる。

(2) 準備 【教員】 コンピュータ（プレゼンテーションソフト）、ワークシート、ビデオレター、こんなことしてほしいなカード（付箋紙）、ヒントカード
 【児童】 筆記用具

(3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価) (太字はキャリア教育とのかかわり)
<p><導入></p> <p>1 指導者の現在までの企業での過ごし方や様子を知る。</p> <p>2 学校のため、学級のためにどのような活動があるか想起し、学級の係活動に絞り、事前アンケートから現状を振り返る。</p> <p>Q. あなたは、クラスの係活動に積極的に取り組んでいますか。</p> <p>Q. あなたの係の活動は、クラスのために役立っていると思いますか。</p> <p>Q. 係活動が活発になるように工夫したりアイデアを出したりしていますか。</p> <p>○学級生活がより良くなるよう、係活動を工夫しよう</p>	<p>5分</p> <p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導者の現状を理解させるために、現在、どのような仕事をしているのかをプレゼンテーションソフトを用い、写真を提示しながら説明する。その際に群馬ヤクルトの企業理念にも触れる。 会社にも各部門があり、企業の目標達成や使命に沿って、それぞれの部門で部門使命を明らかにして違う仕事をしていることを知らせる。学校でも会社でも全ての部門、係が必要であり、組織をより良くするためにあることに気付かせる。その際、群馬ヤクルトは、売上げが目的ではなく、みんなに喜んでもらえるように工夫し取り組んでいる結果、ヤクルト販売グループ全国 103社の中で、12年以上連続1位を達成していることにも触れる。 人工知能にはできない高度なコミュニケーション能力、人間らしさが必要ということに気付かせ、この後の話合いの動機付けにしたい。（単なる物売りではなく、健康社会の実現）
<p><展開></p> <p>3 クラスがより良くなるように、係活動でどんな工夫ができるかワークシートに記入する。</p> <p>①一人で考える。（2分）</p> <p>②係別のグループで考える。（15分）</p> <p>— 予想される児童の反応 —</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的にアンケートを取り、一人一人のよさを〇〇No.1として紹介しよう（学級委員） はがれそうな掲示物がないか確認し、みんなが楽しくなるような掲示をした 	<p>17分</p>	<ul style="list-style-type: none"> より良い学級生活づくりを目指して工夫を考えさせるため、改めて本学級の学級目標「明るく 協力して 助け合える クラス」を意識させる。 児童が想像しやすいように、例示する。 友達と協力して活動する中で、関わりを深めさせる。（人間関係形成・社会形成能力） 企業でも各部門が「より良い企業」になるよう一人一人が考え工夫していることを知らせ、学級も学校も企業もみんなで「目標達成」に向け協力して活動していることに気付かせる。

<p>い。(掲示係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今話題の本を教室で紹介したい。(国語係) ・気になるニュースを新聞にしよう。(社会係) ・朝の会で、今日積極的に使う英語を紹介しよう。(英語係) <p>③早く相談が終わった係は、係相互に、「こんなことしてほしいなカード」を記入し、それぞれの係に渡す。</p> <p>— 予想される児童の反応 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ことわざの英語バージョンを紹介してほしい。 ・百ます計算チャンピオン大会をしてほしい。 <p>4 自分たちの係で考えたものと他の係から教えてもらったものから自分たちの係でこれから取り組むものを決め、黒板に貼る。</p> <p>5 グループごとに今後の取組を発表する。</p> <p>— 予想される児童の反応 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育係として、球技大会(ドッジボール、サッカー)を企画して、休み時間にみんなで楽しもう。(図工体育係) ・1年生のときに好きだった音楽と現在好きな音楽をランキング形式で掲示し成長を楽しみたい。(理科音楽係) ・クラスで楽しかった出来事(月間思い出ベスト3)を新聞にして、教室に掲示しよう。(社会・家庭科係) 	<p>7分</p> <p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の考えをワークシートに記入し、係別に考える時には、追加していく。 ・自分たちの係の仕事内容だけではなく、他の係の手伝いを行う等、係相互の協力についての考えも認める。 <p>◎事前に担任から、それぞれの係のよさや課題を聞き、なかなか書けない児童には個別に声掛けを行ったり、ヒントカードを渡したりする。</p> <p>◇自分たちの係の工夫を積極的に見つけようとしている。(ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの学級生活を想起し、「この係には、こうしてほしい」ということをカード(付箋紙)に記入させる。 ・係の批判にならないようにする。 ・記入したカード(付箋紙)をそれぞれの係のワークシートに貼りに行く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの自分たちが考えた工夫と貼られた「こんなことしてほしいなカード」を見て、これからの取組を考え記入させる。 <p>◎自分たちの工夫と他の係からの意見をうまく結び付けたり考えたりできない係には、声掛けや助言を行う。</p> <p>◇自分の係の工夫を考えることができる。(観察・ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動への意欲を高めさせるため、考えられた工夫を発表させる。 ・安心して発表できるよう、発表後に全員で大きな拍手を贈る。 ・「学級の成長は自分の成長、自分の成長は学級の成長」であることを伝える。
<p><まとめ></p> <p>6 群馬ヤクルト本田会長による、小学生に対するエールを収めたビデオレターを視聴する。</p>	<p>4分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の取組への意欲を向上させるため、学校も会社も自分たちの役割を果たすことに加え、工夫・改善することで、自分やチームの成長を感じ役立つ喜びを感じることが重要であることを、群馬ヤクルトの本田会長からメッセージとして伝えてもらう。(キャリアプランニング能力)

<p>7 本時のまとめを行う。</p>	<p>2分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時に考えた係の工夫が意欲的に取り組めるよう、振り返りシートを定期的に記入していくことを告げる。 ・「クラスのためにがんばる」という意識を継続させるため、今後実践していく中で、より良くなるよう工夫してよいことを伝える。また、係と同様に委員会、縦割り班活動、登校班でも「学校のため、人のために」できることを考え実行し、小学校生活残り半年がより充実したものになるよう伝える。
---------------------	-----------	---